

数当てゲーム(条件付き書式)

エクセル(Excel)の「条件付き書式」の応用として、数当てゲームを作成してみましょう。
また、入力した数のが的中した場合には、「IF関数」を利用した表示を行ってみます。

1. **エクセルの起動**: 「エクセル(Microsoft Office Excel)」を起動します。
2. **ページ設定**: A4縦、余白を上下左右2.5cm程度にします。
3. **セルサイズ設定**: 次のように列幅、行高さを指定します(パソコン教室テキストNo.129参照)。
A列の幅を約100(805ピクセル)に、1行~5行まで行の高さを各93(124ピクセル)にします。
4. **文字入力**: 下図のように文字入力し、A3セルには罫線を引いておきます。

1

数当てゲーム

2

下のボックスの中には、ある数が隠されています。
どんな数値なのか当ててみましょう(自然数)。
下のボックスに推定の数を入力(半角)してください。

3

(備考)
入力した数が小さすぎる場合はボックスが薄青色に、
入力した数が大きすぎるとボックスがピンクになります。

4

5

6

← フォントサイズ:36
(HG創英角ポップ体)

← フォントサイズ:16

← 罫線で囲む

← フォントサイズ:72

ここには条件付き書式を設定します。

← フォントサイズ:16

← フォントサイズ:36

ここには数のが的中した時の表示式を入れます。

5. **条件付き書式の設定**: A3セルを選択し「書式」 「条件付き書式」から下記を設定する。
(Office2007の場合は、A3セルを選択して「ホーム」 「条件付き書式」とクリックします)
 - (1) 条件1:セルの値が、「1」と「2007」の間の場合に、パターンを薄い青色に設定。
 - (2) 条件2:セルの値が、「2008」に等しい場合、パターンを黄色にし、フォントを赤に設定。
 - (3) 条件3:セルの値が、「2008」より大きい場合、パターンをピンクに設定。「OK」とします。備考:「条件付き書式」については、パソコン教室テキスト No.147,148を参考にしてください。

6. **的中した時の表示の設定**: A5セルを選択し「挿入」 「関数」とクリック。「関数の挿入」の画面では「関数名」に「IF」を選定し「OK」とします。

IF

論理式 A3=2008 = FALSE

真の場合 大当たりです!! =

偽の場合 =

- (1) 論理式:「A3=2008」と入力します。
 - (2) 真の場合:「大当たりです!!」と入力。
 - (3) 偽の場合:「 」と空白文を入力(フランクを入力)。
- 最後に「OK」とし「関数の引数」を閉じます。これで完成です。

「関数の引数」の画面では、IF関数の条件を設定します。

7. 作成した「数当てゲーム」のテスト: A3セルに数値を入力しゲームをテストしてみましょう。

	A	B
1	<h1>数当てゲーム</h1>	
2	下のボックスの中には、ある数が隠されています。 どんな数値なのか当ててみましょう(自然数)。 下のボックスに推定の数を入力(半角)してください。	
3	<h1>10</h1>	
4	(備考) 入力した数が小さすぎる場合はボックスが薄青色に、 入力した数が大きすぎるとボックスがピンクになります。	
5		
6		

ゲームのテストでは、罫線で囲まれたセルに半角数値を入力します。予め設定した隠し数値「2008」よりも小さい時はセルが青くなり、逆に大きすぎるとセルは赤くなります。

設定した数値と同じ数が入力されると、セルは黄色くなり、数字が赤く表示されます。更に下部には「大当たり!!」の文字が現れます。

	A	B
1	<h1>数当てゲーム</h1>	
2	下のボックスの中には、ある数が隠されています。 どんな数値なのか当ててみましょう(自然数)。 下のボックスに推定の数を入力(半角)してください。	
3	<h1>2008</h1>	
4	(備考) 入力した数が小さすぎる場合はボックスが薄青色に、 入力した数が大きすぎるとボックスがピンクになります。	
5	<h1>大当たりです!!</h1>	
6		